

令和8年度予算

発行/公明党長野県議団 長野県長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁内 ☎026-217-0465 発行責任者:清水 純子

## 未来を創る改革継続予算 アップデート

社会の変化に対応し

アップデート

ここに注目!



### 1. 命や暮らしを守る



- **持続的な賃上げ環境の整備**  
生産性向上に向けた設備投資や人材育成などの幅広い取組を積極的に行う中小企業を支援
- **医療・介護・障害福祉分野への支援**  
人材の確保・定着を図るため、賃金の引上げや生産性向上、業務効率化、職場環境改善などを支援
- **熱中症対策を強化**  
市町村や民間事業者との連携により「涼みどころ」や「給水スポット」の増設を促進し、周知を強化
- **農業分野での温暖化対策**  
高温に適應できる農業への転換に向け、温度抑制効果の高い資材などの導入を推進

- **持続可能な畜産経営を応援**  
畜産農家が安心して経営を続けられるよう、暑さ対策や省エネ設備、輸送のための大型車両導入など、生産性の向上や経費削減につながる支援の実施
- **宿泊税を活用した観光客の受入環境整備**  
主要観光拠点から、観光地への周遊・滞在観光の創出に向けたツアーづくり
- **性別による固定的役割分担の解消 (ジェンダー主流化)**  
長野県におけるジェンダー・ギャップの解消に向け、様々な分野、主体で取組を強化

ここに注目!



### 2. 若者・子育て支援



- **若者の社会参画や居場所の設置を促進**
  - ・若者の社会参画を促すため、信州をよりよくする提案を行う「ユースカウンシル設立」に向けて、会議を開催
  - ・「地域発元気づくり支援金」の活用によるユースセンターの設置促進、ユースワーカー交流会を開催

- **公立小学校給食費の抜本的な負担軽減を支援**  
保護者の経済的負担軽減を図るため、児童一人当たり月額5200円の給食費を支援
- **メタバースを活用した学校改革**  
引きこもりがちな児童生徒に対して仮想空間での支援モデルを普及

賃金の引き上げに向けて

10月17日

### サポートセミナーに参加

価格転嫁の戦力となるサポーター育成セミナーに、川上議員、勝山議員が参加。価格交渉のノウハウや成功事例のポイントを知ること、「やればできる!」という希望が持て、事業者の皆さんを後押しする大きな力になると確信しました。



### よろず支援拠点 視察

12月11日

価格転嫁の現状と課題についての意見交換。着実に進みつつあるものの、『全く転嫁できない・3割以下の転嫁』という方が、いまだ3分の1を占めています。賃上げ環境を創っていくことは、容易ではないと再認識しました。従来の方法だけにとらわれず、企業自身が『新たなビジネスチャンスをつかむ』そんな気概を持てる取組が必要と実感しました。



避難所に清潔なトイレを!

11月5日

### (株)カンパーランド・ジャパン 視察

(長野市)

緊急要望や議会質問を重ねてきたトイレカー。現場配備に向け進捗状況など伺いました。県は、須坂、塩尻、上伊那、飯田市に4台を配備予定。より機動性が高いトイレカー導入で、広域的な災害支援体制が前進!ただ、支援体制が整うまでの間は、水や食料、携帯トイレなど最低3日間、各自で用意しておく重要性も改めて感じました。



### 組立式トイレを体験

11月5日

県はレンタル業者と協定を結び、「快適トイレ」90台を確保。さらに、130基の組立式水洗トイレ購入を予算化。県内で最大の被害想定、糸魚川-静岡構造線断層帯地震の避難者数、約36万人に対応できるように、分散配置されています。初めてでも30分程度で組み立てられそうですが、事前に訓練しておけば、さらに安心できます。



### 令和8年度の委員会構成が決まりました

- |               |      |               |      |
|---------------|------|---------------|------|
| ● 総務企画警察委員会   | 清水純子 | ● 環境文教委員会 委員長 | 加藤康治 |
| ● 県民文化健康福祉委員会 | 川上信彦 | ● 議会運営委員会     | 加藤康治 |
| ● 産業観光企業委員会   | 勝山秀夫 | ● 決算特別委員会     | 勝山秀夫 |
| ● 危機管理建設委員会   | 勝野智行 |               |      |

私たちの活動をご覧ください



YouTube



ホームページ



X (旧Twitter)





## 皆さんの声を県政に届けます ～定例議会 一般質問から～

### 上田養護学校移転・ 改築計画の検討状況について

**Q1** 令和5年11月議会の一般質問で示した「具体的な検討に着手する」との方針から2年2か月、現在どの段階まで進んでいるのか。

**A1** 令和7年2月には、保護者、学校評議員、地元市町村等からなる「上田養護学校基本方針検討懇談会」を立ち上げ、昨年中に2回開催し、現地建替え・移転それぞれの課題の整理を行なった。令和8年2月10日の第3回目の検討懇談会では、移転を想定した場合に、災害の危険性や通学の利便性の観点などから、望ましい設置エリアや必要な校地面積などについて、一定の整理を行ったところです。

**Q2** 令和8年度は、構想段階から実行段階へ踏み出すべきと考えるが、所見を伺う。

**A2** 現在の状況を踏まえると、早期に方向性の道筋をつける必要があり、検討をさらに加速させていくことが必要であると考えている。必要な条件を満たすエリアにおいて、関係機関等のより一層の協力を得ながら、具体的な土地の調査を行うなど、出来るだけ早期に設置場所の見通しがつくよう、取組を進めてまいります。

### ライフスタイルに合わせた 多様な働き方創出事業について

**Q3** 未だ続く、県内企業の人材不足解消のため、多様な人材の労働参加を促すため、2年間の事業の実績を踏まえて、令和8年度にどのように展開していくのか伺う。

**A3** 事業の効果として、切り出した短時間業務の求人について、地域就労支援センター(Job サポ)を通じて幅広く求職者へ紹介しており、これまでほとんど見られなかった求人への応募が徐々に増加し、女性やシニア層からの問い合わせが増えている。

令和8年度では、短時間勤務を実際に導入し成果を上げている企業にプレゼンしていただき、導入の手軽さや具体的な工夫を紹介するセミナーを開催、また、業務改善支援員が企業を訪問し、導入に対して助言するなど、企業の懸念の払拭や導入のハードルを下げる取組を進めていく。

### アピアランスケア助成事業の対象拡大について

**Q4** 助成対象に脱毛症、特に子どもを対象に含める制度拡充を検討すべきと考えるが見解を伺う。

**A4** 議員ご指摘のとおり、アピアランスケアの趣旨に鑑みれば、がん患者以外の方々に対しても社会参加に繋がる支援は重要なことである。今後は、先行する他の自治体の取組を参考にしつつ、対象疾患や想定される対象者数など制度設計に必要な情報の把握に努めるとともに、特に事業の実施主体である市町村に対し、県からその必要性等について問題提起を行ないながら共に考えていきたい。

### 誰もが安心して搾乳ができる環境づくりについて

**Q5** 子育てへの支援をより充実するため、授乳室でも搾乳しやすい工夫や、職場における搾乳など、必要な方が安心して搾乳できる環境づくりに取り組むべきと考えるが、所見を伺う。また、県が保有する施設の授乳室への搾乳マークの併用と更なる拡大へ着手をお願いしたいがいかがか。

**A5** 今後県では、授乳スペースを設けている「子育て家庭優待パスポート」協賛店や「ながの子育て応援企業同盟」の加盟企業等に、授乳室で搾乳ができる旨を表示するよう働きかけたり、県ホームページ等で広報を行ってまいります。また、県の率先実行はとても大切なため、県有施設の授乳室へも搾乳マークの表示等が進むよう、関係部局と相談・調整をしてまいります。

一般質問の内容は右記のQRコードより  
視聴できます。ぜひ、ご覧ください。



## 危機管理建設委員会

### 【建設】

次世代を担う若者が建設産業の魅力ややりがいを広く知ってもらうため、あらゆる世代に向けた取組を実施します。

#### ●現場見学会

小中学生と保護者を対象にリアル体験できる現場見学会の実施。とても好評です。

#### ●移住希望者の就業支援

移住フェアなどを通して、建設業産業への就業を促す説明会の実施

#### ●魅力発信プラットフォームの発足

建設産業のあらゆる主体が連携・協働するプラットフォームの立上げ

#### ●建設産業の魅力伝える動画の作成

「新技術編」「役割編」「魅力編」に加え、「女性活躍編」など、新たな広報の展開



詳しくはこちら▶

### 【危機管理】

#### 長野県地震防災対策アクションプランの取組状況

#### ●自助の呼びかけ

「自らの命は自らが守る」共助・公助とともに、自助の取組の呼びかけ促進  
災害保険・共済の加入の促進の呼びかけ

#### ●孤立可能性集落での災害時情報通信手段の確保

6市町村（約70地域）に対し、補助実施

#### ●避難所の運営見直し、生活環境の充実

自主防災アドバイザー、防災士等を対象に避難所開設スキルの研修

#### ●避難所TKB（トイレ・キッチン・ベット）の進化にむけた備蓄強化

プライバシーを確保するテント（1100基）やエアベット（1500枚）、給電装置を各振興局へ配置（10基）

#### ●災害時の罹災証明書発行の迅速化

タブレットを活用したシステムを体験する研修の実施

# 川上のぶひこ 県議会だより

11月・2月定例会・1月臨時会の質疑やその他活動を紹介します

一般質問の様子はこちらをご覧ください→



## 11月一般質問：1. ツキノワグマ対策について

### 川上質問

緊急対応体制について、市町村と県及び県警の役割と相互の連携をどのように構築していくのか。

### 林務部長答弁

県では、「ツキノワグマ出没時対応マニュアル」を策定、三者が協議して対策方針を決定する仕組みを明確化し、対応体制や連絡体制を再点検し、机上訓練を実施し、顔の見える関係づくりを進める。

### 川上質問

猟友会の広域連携について、小規模町村が単独では対応困難な地域において、いつ、どのような枠組みで広域連携体制を整備していくのか。

### 林務部長答弁

有害鳥獣の捕獲活動を持続的に進めるためには、広域連携の推進は不可欠であり、まずは来年度、先進的に取り組む地域において広域連携を検討し、その成果を検証した上で、段階的に全県的な体制へと広げたい。

### 川上質問

クマと遭遇した際の基本行動やクマ撃退スプレーの正しい使い方など、命を守るための最低限の知識について、来春までにどのような手段で県民に周知していくのか。

### 林務部長答弁

小中学生にはハンドブック、幼児には紙芝居を配布、学校や保育施設の管理者には、登下校時の安全確保のための動画を作成。一般県民向けには、県ホームページや公式LINEで遭遇時の行動やクマ撃退スプレーの使い方を解説する動画などを配信する。



## 2. 長野県版明るい逆参勤交代の推進について

### 川上質問

「明るい逆参勤交代」の取り組みを行っていくことが、東京一極集中の緩和につながり、新たな企業誘致の方向性の一つとなると考えるがいかがか。

### 知事答弁

大都市の企業と繋がって、そこで働いている人を我々の地域と繋いでいただくことに企業の力を借りるのが大変重要になってきている。長野県はこうした取り組みに最も優位性のある地域だと思うので、我々独自の考え方・概念もしっかり構築しながら、大都市の活力を長野県の活力にしっかりつなげたい。



## 1月臨時会代表質問について

1月臨時会において、公明党県議団を代表して質疑を行いました。

主な質問項目は、今回の補正予算案において、賃上げ促進の事業が盛り込まれているが、総合経済対策で掲げた中小企業の賃上げを今後どのように実現していくのか。医療分野におけるICT機器等の導入による業務改善支援について、働きやすい職場環境の実現や人材定着にどのようにつなげていくのか。農業における持続可能な経営基盤の構築について、単なるコスト補填に終わらせることなく、収益力向上や担い手確保など持続的な構造に今後どのようにつなげていくのか等について質問しました。



## 2月定例会産業観光企業委員会質疑



### 産業労働部

①デジタル化一貫支援事業について②食品産業の活性化支援事業について、③信州ブランド普及・発信事業について質問。

### 観光スポーツ部

①宿泊税推進事業について、②観光アクセス向上事業について、③部活動地域展開（地域クラブ活動推進事業）について質問。

### 企業局

①企業局総合防災訓練の実施状況について②マイクログリップの展開可能性について質問。

## 『こんにちは県議会です』in飯田・三遠南信リニア建設促進



### 1月23日

広報委員会「『こんにちは県議会です』おでかけ意見交換会」が飯田高校で開催され、地元議員として参加。グループに分かれ意見交換を行い、私はBグループで、「焼肉の街飯田の最強のタレを見つける」をテーマに探究学習に取り組んでいる皆さんと、南信州の食文化について話し合いました。部活動や地域の集まりなど焼肉文化は若い皆さんにもしっかり根付いていて、更に発展させようとの熱い思いを強く感じました。

### 4月2日

山梨実験センターにてリニア試乗会に参加。実験線の総延長は42.8km、リニアの最高時速は500kmです。振動や騒音も少なく、個人的には安定した飛行機に乗っているような感覚でした。

リニア新幹線は2034年以降の開業となる見通しですが、本体工事について、地域住民の生活環境や安全への配慮など、私たち県議会としても、国・JR東海に対し、工程の着実な前進と、地域に寄り添った整備を強く求めてまいります。



# 加藤やすはる通信

## 県議会一般質問での質疑をご紹介します。

11月、2月議会では財源を創る取組や避難所整備などについて質問しました。

### 質問 県の特別支援学校体育館への空調設置について

令和7年2月議会で、災害時に福祉避難所となる県の特別支援学校体育館への空調整備の促進について提案させていただいたが、今年度行っている、最適な施工方法を検討する調査の状況や、調査を踏まえ空調設置を今後どのように加速していくか伺う。

#### 答弁 【教育長】

本年度実施している調査については、昨年9月に空調設備と建築分野の専門性を有する業者に委託し、3月中の完了に向け詳細を確認・整理している。今後は調査で得られたデータ等を基に、すべての特別支援学校における最適な施工方法を検討し、必要性の高い学校から設置工事の設計に向け、知事部局と具体的な協議を進めていく。



### 質問 被災者の尊厳と人権を尊重した避難所整備について

イタリア式避難所システムのように、被災者の生活環境の質を重視した避難所運営の考え方を取り入れた仕組みづくりや訓練に積極的に取り組むべきと考えるが、所見を伺う。



#### 答弁 【危機管理部長】

昨年12月、本県の災害中間支援組織「長野県災害時支援ネットワーク」が主体で行われた訓練は、被災地の外からテントや電源など資機材一切を持ち込むなど、イタリアで行われている取組の長所を本県の仕組みに取り込む試みを実践した。本県ではこれまで、キッチンカーによる温かい食事の提供訓練など、平時と比べ被災者の生活環境の質を可能な限り低下させない体制づくりに取り組んできた。今後も被災者支援に関わる各分野の体制整備や個別の取組を総合的に確認する機会である訓練を両輪として実施することで、被災者の生活環境の質の向上を図っていく。

### 質問 財源を創る取組の推進について

県の予算においても政府系ファンドのような財源を創る考え方を検討し、推進すべきと考えるが、所見を伺う。

#### 答弁 【知事】

県としても持続可能な財政基盤の構築に向け、県が保有する基金を一層有効に活用していく視点が重要と考えている。現在、基金については各所管課で管理・運用しているが、一括運用を検討し、効率的・効果的な運用方法や資金の有効な活用のあり方について検討・具体化していきたい。



### 消防出初式に出席

長野市と地元篠ノ井第一分団の消防出初式に出席しました。

昼夜を分かたず地域の安全・安心のために活動されている消防団をはじめとする消防関係者の皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。また、活動を支えていただいているご家族の皆様にも感謝申し上げます。

地域住民の皆様にとって消防団は本当に心強い存在です。消防団活動の環境整備に今後も取り組んでいきます。(1月10日)



### 県庁にマイボトル用給水機が設置されました

これまで議会の質問などでマイボトル用の給水スポットの設置が県内でも進むよう提案してきましたが、この度、県庁にマイボトル用の給水機が設置されました。

県が公表している「信州くらしのマップ」では、県内には給水スポットが1000カ所ほどあります。ぜひご活用ください。(3月25日)



### 更生保護施設を視察

県議会更生保護を考える議員連盟で、更生保護施設の視察と関係者との意見交換会を行いました。

各団体の方から保護司の現状や更生施設の運営など、切実な状況をお聞きしました。

安全・安心な地域社会をつくるため、県議会でも更生保護活動を後押ししていきます。(3月3日)



# かつの智行NEWS



## 一般質問



令和7年11月

一般質問 定例会 配信映像

令和8年2月

### 障がい者等への支援に関する取り組み

- 健康福祉部長 令和7年11月 定例会
- ①知的・発達障害者の口腔ケアには心理的準備が必要とされ、県は歯科衛生士による助言や環境整備を行い、**不安軽減や理解促進に努めている。**
  - ②口腔健康保持のため、県は訪問歯科健診や歯科保健指導を実施。市町村を通じニーズに応じた支援を推進。昨年度は70名が利用。
  - ③信州パーキング・パーミット制度について、県は**育児負担軽減や制度の柔軟性を検討中。**(妊婦の有効期間を産後3年まで延長すべきとの提案に対し)

### 県の手数料などの納付に係る現時点でのデジタル化の進捗状況並びに証紙廃止に向けた今後の計画

- 会計管理者・知事 令和7年11月 定例会
- ①令和6年度からオンライン決済を拡大し、来年度(令和8年度)中に導入率約9割を目指す。**→県立高校入学検定料・入学金納付のキャッシュレス化等**
  - ②条例改正を経て、**令和9年度までに収入証紙の廃止を完了させる方針。**

### 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用について

- 知事 令和7年11月 定例会
- ①物価高騰対策として、重点支援地方交付金を活用し、**生活支援や産業支援を推進。**エネルギーコスト削減や構造転換も検討し、早期の効果実感を目指す。
- 暮らしを守り、未来を創る  
長野県総合経済対策

### 信州まつもと空港周辺の地域振興と発展方針

- 知事 令和8年2月 定例会
- ①地元と連携し、空港の路線誘致や施設整備を推進。
  - ②**空港の活性化と地域振興を両立させる意向。**



### 沖縄県との交流とJTA(日本トランスオーシャン航空)チャーター便の運航

- 交通政策局長・こども若者局長 令和8年2月 定例会
- ①11月の紅葉シーズンに加え、桜シーズン等に運航時期の拡大を検討。**→信州まつもと空港と那覇空港を結ぶ春の直行チャーター便運航(今年4月15日・4月18日)**
  - ②今年度、長野県と沖縄県の若者交流事業を初めて実施し、参加者から好評。継続的な交流を促進。

### 高次脳機能障害者支援法の本年4月1日施行に伴う県の方針

健康福祉部長・教育長・産業労働部長 令和8年2月 定例会

- 1)地域の支援体制整備と関係機関との連携について**
  - ①市町村の保健師を対象とした会議を開催。情報共有とスキルアップ。
  - ②自立支援協議会の枠組みを活用し、**支援地域協議会を設置。**
- 2)急性期病院と県総合リハビリテーションセンターの連携、支援継続について**
  - ①脳血管疾患や外傷後の早期発見、医療と福祉の連携による**切れ目のない支援を実施。**
  - ②医療関係者への理解促進と紹介体制の強化を推進。
- 3)高次脳機能障害児童生徒等の継続的な学びを保障する支援体制について**
  - ①研修会等で支援事例の紹介など、教職員への周知と理解促進に取り組む。
  - ②小中学校については、市町村教育委員会の**継続的な学びを保障する支援体制構築**への支援。
- 4)県における就労支援の取組について**
  - ①高次脳機能障害支援コーディネーターや保健福祉事務所と連携。
  - ②ジョブコーチなど定着支援を担う障害者職業センターやハローワークなど国の機関とも緊密に協力。
  - ③**就職相談から就職活動、就職後の定着支援**に至るまで、切れ目のない支援体制を強化。

### 高次脳機能障害者支援法の意義と今後の展望

知事 令和8年2月 定例会

- ①高次脳機能障害者支援の計画的推進と社会理解の深化。
- ②既存支援拠点の強化と総合相談支援センターの設置を目指す。**→令和8年4月1日、県立総合リハビリテーションセンターを「高次脳機能障害者支援センター」に指定。**
- ③当事者と家族の安心した暮らしを支援。



### 委員会での主な質問項目 (12月・3月)

#### 教育委員会

- ◎県立高校空調設備整備について
- ◎通級教室における児童生徒の定員数と教員の配置についての考えと今後の在り方について**→R8年度、小学校新1年生のクラスを定員25人規模に**
- ◎在籍する高次脳機能障害児童・生徒について **特別支援学級に数名在籍**
- ◎全国・ブロック大会派遣費交付金 R8年度予算案(文科系)8575千円(R7年度予算8147千円)について
- ◎義務・特別支援学校・高校別の**教員不足の解消**及び「講師等確保強化推進業務委託料」について

#### 環境部

- ◎「長野県ゼロカーボン戦略」の中間見直しについて
- ◎「廃棄物処理計画」(第6期)素案について
- ◎「信州もったいないキャンペーン」の県民への伝わりやすい広報について

### 決算特別委員会

令和6年度決算の審査・調査



8月の上田小県・佐久地区及び9月の松本・上伊那地区現地機関調査、11月から12月の本庁調査において、各機関や各課等から示された決算調書等における不明な内容点について質疑

12月5日に委員会として意見を述べた上で認定し、12月12日の本会議において、委員長から指摘要望事項も加えて報告され、議会として認定。



### こんにちは 県議会です

高校生との意見交換会

議員12名と県内の高校生22名が5つのテーマを2つずつ5つの班で意見交換を。私の班テーマは「**高校生も巻きこんだ交通の将来設計**」と「**高校と生徒会のあり方**」。高校生から、「学校は勉強しに行くだけでなく、コミュニケーションを作る場でも」との意見が。課題解決を提案される高校生に敬意です。



# 勝山ひでお 長野県議会議員

## VOL.6 ..... 2026 春号



## 現場第一! ひたむきに走る



### 英語教育の強化

オンラインマンツーマン英会話導入を提案!

#### 11月定例会 一般質問



一般質問の動画はQRコードよりご覧になれます。質問・答弁の趣旨は以下の通り。



【勝山】公立中学校・高校でモデル校を指定し試験的にオンラインマンツーマン英会話を導入すべきでは?

【教育長】県では、観光地での英語ガイド活動や、地域の外国人を活用した授業など、実践的な取組が進められている。今後は更なる環境の充実のため、オンライン英会話の活用も含め研究していく。



【勝山】若者から選ばれる長野県を実現するためには、英語コミュニケーション力の向上も含めた質の高い教育の実現が欠かせないと考えるが如何か?



【知事】英語による実践的なコミュニケーション力は、今後の長野県教育の重要な基盤。英語能力指数において日本は過去最低の順位となっており、教育の見直しが求められている。私自身も「使える英語力」の不足を実感しており、教育の在り方の転換が必要だと感じている。県として先進的な取組を進め他地域との差別化も可能。教育委員会とも協力しながら取り組む。



### 長野県の英語教育の現状と課題



【現状】

長野県の高校生の英語力は英検準2級相当以上の割合が全国平均を下回っており、伸び悩みが見られる。

【課題】

スピーキングなど「使う英語力」の育成が不十分で英語を苦手・嫌いと感じる生徒も一定数いる。言語活動や英語の発話量をいかに増やすかが重要な課題。



### オンラインマンツーマン英会話とは?

外国人講師と1対1で学ぶことで発話量を確保でき、自宅でも受講可能な低コストの学習手法。ALTに比べ個別対応がしやすく学校規模に左右されない英語環境の確保、不登校生徒への対応にも有効。生徒の自信向上や英検対策への効果が報告されており、スピーキング能力の向上にも成果が出ている。

### 不登校の子どもの学びを守る

【勝山】千葉県では不登校児童生徒の学びの保障について、「5教科+αのオンライン授業配信」や「オンデマンド学習」を行い大きな効果を上げている。長野県としてICTを活用した新たな学習機会の提供をどのように強化していくのか伺う。

【教育長】不登校児童生徒の学びを保障するため、ICTを活用しながらも、教職員と児童生徒による双方向のコミュニケーションを重視した学習、加配教員を活用した放課後の学習活動、仮想空間を利用した学びなど、一人一人に応じた多様な選択肢を提供していくことが重要であると考えている。



### 2月定例会 一般質問より

質問・答弁の趣旨は以下の通り。

### 交通系ICカードの推進

【勝山】若者から交通系ICカードの普及の要望が多い。今後どのようなシステムをどの範囲に普及させる予定か伺う。

【交通政策局長】路線バスは令和10年までに40%の路線で導入を目指す。鉄道においては、令和9年春には、長野電鉄長野線やアルピコ交通上高地線で交通系ICカードが導入される予定。



### 中学生のクラブチーム活動へ移行に伴う足の確保

【勝山】中学校の部活動のクラブチームへの移行が進められているが移動の足の確保が懸念。足の確保をどのように行うのか伺う。

【教育長】来年度、公共ライドシェア、ボランティア輸送を活用したモデル事業を実施。具体的にはワンボックスカーの貸与、ドライバーの謝金やガソリン代の経費を負担する。



一般質問の動画はQRコードよりご覧になれます。

